

# 腹腔鏡手術 切開1カ所で



山田病院 外科部長 山田直人

もあるが、通常は腹腔鏡「ポット」と呼ばれる機器が1カ所、

## 独自の方法

佐田病院の場合、胃腸、胆嚢の方法は従来の4カ所をそれぞれ「ロ・ロ・ロ・ロ」として5カ所は通常、トロッカーという器具の筒を挿入し、二酸化炭素を送り込みで腹部を膨らませながら、小切開メスや電気メス、鉗子を出し入れして体腔から操作、患部の全周を切断する。その際、患部の周囲部分から穴に1カ所、手術時間は30分〜1時間、2〜3日ほど休む必要がある。

従来の腹腔鏡手術では4本のトロッカーのうち1本を、患部のつうの上から、

## 高度な技術必要判断慎重に

「高度な技術が必要」と判断できる（山田院長）  
 単孔式手術は2007年に米国の医師らが報告した。切開するのはその下部1カ所だけ、一つの穴から複数のトロッカーを挿入して従来の方法と同じように手術する。切開した部分に貼り付ける

器のう挿出や虫歯炎などの製餅調子で、カメフラや鉗子を挿入するための製餅の切開を1カ所にして、手術後の傷をより目立たなくする「単孔式」が急速に普及している。若い

女性患者を中心に希望も増えているという。ただ、従来の方法より高度な技術が必要で、安易に実施しないよう関連学会も警鐘を鳴らしている。

## 単孔式 傷が目立たず女性中心に普及

「高度な技術が必要」と判断できる（山田院長）



（山田病院）



「ポット」と呼ばれる機器をスコープと器具が挿入し、患部に貼り付ける。切開は「ロ・ロ・ロ・ロ」の4カ所、患部の周囲部分から穴に1カ所、手術時間は30分〜1時間、2〜3日ほど休む必要がある。

## 虫歯炎にも

手術時間は平均1時間程度、傷口は体内に吸収されるため縫合も必要ない。また、従来の回復の速さも増えるものの、従来の方法と変わらず、最大の利点は傷が目立たないこと、手術上

のメリットがある。

佐田病院では、患部の腫れや炎症を抑えるためでも単孔式を勧めている。国内全体では、単孔式は今年3月時点で5千例を越えたとされている。

佐田院長は「虫歯などの合併症が起きたら患部の処置は従来の腹腔鏡手術より難しく、処置が難しい場合でも単孔式は向かない。問題を省いた従来の手術も使い分け、治療効果と安全性を天秤とる必要がある」と強調する。

日本内視鏡外科学会も「高度な技術が必要。腹腔鏡手術で二つの臓器を傷み、独特の手術操作に習熟したより行うことが望ましい」と警戒する理事長の声明を出している。